日本キリスト教団 東金教会〔３１〕

2017年7月30日 聖霊降臨節第９主日礼拝

年度目標 《神と共に闘う信仰者》

聖句 しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。 エフェソ書６章１３節

【礼拝式次第】

司式	上村
奏楽	井島
受付	中津
案内	中安
名札係	久延
礼拝感謝祈祷	足立
〃 〃	三枝

前奏	中村
讃美歌５６	一同
使徒信条５６６	〃
交読文３０	司・会衆
主の祈り５６４	一同
聖書 マタイ福音書 13章31-33，44-52	司会者
祈祷	井上
新聖歌４２８	一同
み言葉の伝え 「絶大な価値」	梅田與四男
讃美歌３５８	一同
献金	
礼拝感謝	足立
〃 〃	三枝
報告	井上
頌栄５４１	一同
祝祷(派遣)	梅田與四男
後奏 新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 8月2日(水)午後7時半
早天祈祷会 月-金7時(除祭日)メーヤー館
聖歌練習 本日礼拝後
聖書輪読会 8月6日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 8月6日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日の礼拝説教は梅田與四男先生がご担当下ださいました。ご奉仕有り難うございました。
☆去る27日(木)持たれました教会学校１日夏期学校は101名の生徒が集い，たのしく無事終えることができました。ご加祷，ご協力有り難うございました。
☆7/31～8/2幼稚園夏期保育が予定されております。又，8/3～5は園庭等清掃日です。ご加祷下さい。
☆８月９日(水)～１０日(木)持たれます教会学校１泊キャンプのためにご加祷下さい。
☆元茂原教会牧師故広川 牧師のご長女・茂原教会教育主事広川 姉が召され、本日茂原教会にて送別礼拝が午後２時より執り行なわれます。
☆「朱鷺が峯」の原稿を募集しております。今回は「朴貞蓮牧師就任特集号」です。先生のご就任に対するお祝いや希望、今後の東金教会についてのご意見等が原稿の中心です。もちろんこれ以外の原稿も大歓迎です。宜しくお願い致します。
☆夏期献金をお覚え下さい。
☆中村牧師の夏期集会の休会は，8/9、8/16及び8/23の祈祷会です。宜しくお願いします。

【定期長老会報告】

日時…2017.6.11 場所…教会事務室
出席…中村牧師 森川 (書記) 岡村
安延 足立 土屋
議事……教会・保育施設行事報告の件(6/11教会学校花の日 6/16千葉支区東総分区婦人部集会 6/18朴先生就任式及びお祝い会 6/25千葉支区の日 6/26千葉支区伝道協議会 6/27山田台集会 7/2教会清掃日 7/17メーヤー館での東総分区信徒の交わり会 7/27ＣＳ1日夏期学校 8/9-10ＣＳ一泊キャンプ 7/20幼稚園1学期終了式 7/31-8/2幼稚園夏季保育 8/3-5園庭等清掃

【7月30日～8月5日の誕生者】

○ 阿部 兄 ○戸村 姉 ○山崎 兄
※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(7/23)	16	29	45
聖研祈祷会(7/26)	3	4	7
聖書輪読会(7/23)	2	5	7
教会学校(7/23)	6	14	20

早天祈祷会

日	男	女	計
7/24	1	2	3
7/25	1	2	3
7/26	1	2	3
7/27	1	2	3
7/28	1	2	3

主日礼拝献金(7/23)……42，719円
教会学校献金(7/23)……6，723円

【今日のメッセージ】

題 [絶大な価値]
聖書 マタイ13：31～33,44～52
1.絶大な価値に

2.自己投入（献身）する

3.キリスト者の自由

【次週(8月6日)礼拝案内】

題 [神の心を我が心として]
聖書 ローマ書12；13～17
交読文 31
讃美歌 58番 355番 537番
新聖歌 204番

【次週(８月６日)礼拝当番者】

御言葉の伝え…	中村征一郎
司式者…	川里
奏楽者…	立田
受付者…	上中
案内者…	上立
名札当番…	木内
礼拝感謝祈祷…	林本
〃 〃…	
cs お話し…	足
会堂清掃者…	鈴
〃 〃…	寺
花係…	小
看板書き…	澤

【次週聖餐式当番者】

配餐者……宮中・土屋
祈祷者……戸波・戸波

【聖書から】

愛には偽りがあってはなりません。
ローマ一二章九節

まことに厳しい言葉である。おおよそ我々のうち誰が偽りのない愛を持つことが出来るだろうか。「偽る」とは仮面を被るとの意であると言う。昔、舞台で劇や踊りを演じる時、仮面を着けることによって舞台上の人物を演じ分けたように、我々もこの世と云う舞台で様々の人物を演じ分けているのではなかろうか。ひとりの者が時として寛大な人物になり、時として慈愛に満ちた者になり、時として偏狭な人物になる。時として意地悪な、冷たい者となる。私たちは自分のその時の在り方や自分が接している相手方に対する好悪の感情に左右され、様々の仮面を被るのである。パウロは果たしてこのような人間の有り様を承知していたのであろうか。ただ尚、「偽るな」と言ったのかは分からない。ただこのような偽れる自分が、それでも尚偽りから免れる可能性がないのかと問われるならば、偽りから免れる可能性はある、と思う。それは神を己の前に置くことによって可能なのではなかろうか。私たちは自分を基準にして事物に接しようとするとき、それは偽りに満ちたものにならざるを得ない。人は諸々に偽りに満ちた者だからである。けれどもこのように偽りに満ちた者が己を基準とするのでなく、神を己の前に置き、神を基準とするとき、己の持つ偽りの心からの解放を経験するのである。そしてパウロの言葉はまさにこの解放を経験した者の言葉である。彼は鋭い良心によって己が偽れるものでしかあり得ないことをよく知っていた。しかしこの偽れる者が神の御前に立ち、神の心を己が心とする願いを持って語り、行動するとき、彼のその全ての有り様は神の赦しの下に置かれることを確信していたのである。そして我々の願う有り様もまた然りである。偽れる者が神の御前に生き、言葉を発し、行いをするとき、神はこの貧しい献げものを受けとって下さるのである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。